

## 風の森

糸賀一雄先生の「この子らを世の光に」という言葉を通じて、「社会を明るく照らす貴重な存在を、社会がくもらせるようなことは絶対にあってはならない」とは、大場理事長が、障害者虐待防止委員会発足の折、寄稿いただいた言葉であり、虐待防止対応マニュアルに明示されています。

令和4年度、各分野の虐待防止法が義務化されたことにともない、連日のように支援者の逮捕や、支援を必要とするひとたちに対して、耳を覆いたくなるような、悲しい事象が後を絶ちません。

我が法人においても昨年度は、虐待事例として当該市町へ報告と、市町から県への報告となったことは、職員の心にも痛く残っていることと思います。風の森をはじめ、利用者皆さんの権利擁護と虐待防止を重要な課題として掲げている事業所は多く、そのうえでこのような結果につながってしまったことは、とても残念でなりません。

このことから風の森は、令和5年度においても引き続き、風の森を利用されるすべての利用者さんに寄り添い、利用者皆さんが主体となって、皆さんの自己決定に基づいた支援が組み立てられるよう、利用者皆さんの権利擁護と虐待の防止を念頭に掲げてまいります。

同時に、利用者皆さんを365日/24時間、懸命に支えられているご家族への視点も忘れず、日々の変化を見逃すことなく今のご家族の気持ちに傾聴と共感していくことができるよう、こころがけて支援に取り組んでまいります。

### 1 利用者さんの権利擁護の視点と虐待防止への取り組み

利用者さんの良き伴走者になり、皆さんの権利擁護のため、次のことに取り組んでまいります。

#### (1) 利用者さんの権利擁護のために

ア 私たち職員は、利用者皆さんの自己決定に基づいた支援をこころがけ、利用者さんに寄り添った支援を行ないます。

イ 日々の支援が、利用者皆さんの権利侵害に触れていないか、振り返りをおこなっていきます。

ウ 指導的な立場に立って接することなく、あくまでも私たち職員は、利用者皆さんの良き伴走者として、日々の支援に携わっていきます。

エ 日々の支援を振り返り、その支援が利用者さんの虐待行為につながることはないかを協議検討し、不適切な支援の改善に努めていきます。

#### (2) 職員個々の研鑽と資質向上のために

ア 支援の多様化と、さらに高まる地域ニーズに応えていくことができるため、職員個々が積極的に学び、研鑽できる機会を設けます。

- イ 職員個々の支援力向上のための研修の機会を設けます。
- ウ 職員の利用者皆さんへの共通理解と統一支援を行なうため、ケース検討を充実していきます。
- エ 職員同士が相互理解のうえ、互いを認め合い、助け合い、チームで支援できる組織を目指します。

## 2 円滑な支援体制の構築

今年度、新たに 2 名の方が利用され、すべての利用者さんの支援を円滑に行なうため、次のことに取り組んでまいります。

### (1) 事業所内での情報共有の強化

日々の些細な変化も見逃すことなく、職員間で情報の共有を図っていきます。具体的な方法として、毎日のケース検討に力を入れ、参加できない職員にも情報共有ができるよう、ケース検討会議録を充実していきます。

### (2) 利用者さんご家族との連携

その人を支えるために必要不可欠な資源として、その人のご家族があります。ご家族との連携無くしては、円滑な支援を行なうことができません。

風の森では、今まで以上にご家族に寄り添い、ご家族の意見を傾聴し共感し、ご家族と一緒に、その人を支えていけるよう努力してまいります。

### (3) 地域連携の強化

関係機関が情報交換し合い、必要な情報を共有するとともに、どのように取り組めばその人にとってより良い支援を行なうことができるのか、風の森より積極的に話し合いの場を求め、協議検討を重ねていきます。

## 3 BCP（災害時における事業継続計画）の策定と BCP に基づく避難訓練の実施

令和 4 年 9 月に発生した台風 15 号の影響により、静岡県中部では甚大な被害を受け、袋井市地域でも自宅への浸水など、いたるところで災害による被害が確認されました。

このような背景から、風の森では現在取り組んでいる、なごみかぜ BCP 策定をさらに強化し、この計画に基づく訓練も同時に強化していきます。

目指すところとしては、発災時に策定した BCP に基づく避難誘導が利用者さんの安全を確保したうえで実施でき、また、職員の安全も確保できること。そして、帰宅困難も想定に入れ、発災時に帰宅できない場合、事業所内でどのように過ごすことができるか、事業継続が可能となる実用的な計画を策定し、訓練を実施できることです。

## 4 職員研修の強化と人材育成

サービス資質向上を目指すためにはまず、職員ひとり一人が「学ぶ」機会を持つこ

とが大切であると考えています。内部研修と外部研修に積極的に参加できる体制を構築していきたいと考えています。

今年度は、新たに風の森には非正規職員 1 名が入職し、相談支援事業所より支援現場での研修を含め、1 名が風の森へ入職します。看護師も非常勤が 1 名、現任との交代で入職します。

そこで、風の森では様々な立場から研修の機会を出来る限り提供し、支援の実際と利用者さんの視点に立って支援できることを自らが積極的に学び、学んだことを確実に他の職員に伝えまた、伝えていくことのできる職員に成長できるよう、事業所として管理者として、全力でサポートしてまいります。

(文責：後藤幸一郎)